

美しい山・川・海
人が躍動する 交流と共生のまち

ふるさと 香美

今月号の主な内容

- ・「香美町マイバッグ運動」スタート … P. 2～ 3
- ・お年寄りが、元気で長生き、
いきいきと暮らせるまち … P. 4～ 5
- ・水道・下水道料金が10月から変わります … P. 6
- ・総合防災訓練実施 … P. 7
こんにちはは町長です
- ・行政トピックス … P. 8～ 13
- ・まちの出来事 … P.14～ 15
- ・キラリ香美町 … P.16
(別冊 けいじばん、いきいきカレンダー)



【写真】 おじいちゃん、おばあちゃんに楽しんでもらえてよかった
サマーボランティア体験教室 (小代区)

8月21日、香美町社会福祉協議会小代支所主催のサマーボランティア体験教室に参加した11人(小代小1年～5年)が、“新屋区ふれあい・いきいきサロン”でお年寄りたちと交流しました。

サロンの皆さんは、子どもたちがこの日のためにみんなで相談して作ってきてくれた輪投げや福笑い、貼り絵に挑戦し、童心に返って楽しんでいました。

9

香美町広報
平成20年9月号
(第42号)

10月1日「香美町マイバッグ運動」スタート

買い物は、あなたも私も、マイバッグ



地球規模の最も深刻な環境問題として、人間活動によって排出される温室効果ガスが原因で起こる地球温暖化問題があります。今年7月に北海道洞爺湖で開催されたサミットは「環境サミット」と称されるなど、地球温暖化防止対策が世界の主要なテーマとなっています。

本町では、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素(CO₂)を削減していくため、私たちの誰もが実践できる身近な取り組みとして、レジ袋の削減に向けた「香美町マイバッグ運動」を10月1日にスタートさせることになりました。



▲買い物は、マイバッグで！

マイバッグ運動の取り組み内容

●ポイントカードによるレジ袋削減の取り組み

町民の皆さんが、この運動に協力していただくスーパーや食料品店など(以下「協力店」という)でマイバッグを持参し買い物をしたとき、ポイントカードにスタンプを押してもらい、30個(カード1枚分)貯まったら協力店で引換品と交換します。

●実施日

平成20年10月1日から

●ポイントカード

実施日までに全戸に配布します。また、協力店にも置いてあります。

・マイバッグ運動の協力店で、1回の買い物につきポイントカードにスタンプを1個押しもらってください。スタンプが30個(カード1枚分)貯まったら、協力店で引換品と交換します。

●協力店

「香美町マイバッグ運動協力店」のステッカーを店頭に掲示します。(別途、協力店の店舗名一覧表を全戸配布します)

●引換品

ポイントカード1枚(スタンプ30個)につき、香美町燃えるごみ指定袋(小)1枚

●協力店の募集

マイバッグ運動に協力していただける店舗を募集しています。具体的な協力内容は、次のとおりです。

①町民の皆さんがマイバッグを持参し買い物をされたとき、1回の買い物につきポイントカードにスタンプ1個を押しさせていただきます。

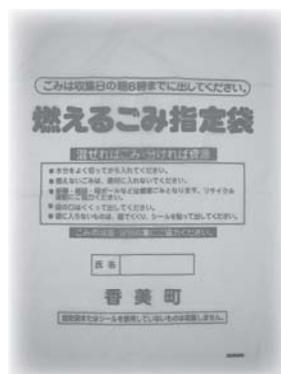
②町民の皆さんが30ポイント貯まったカードを持ってこられたときに、引換品と交換していただきます。

※①のみの協力でも申し込みできます。

●問い合わせ(申し込み)先

香美町マイバッグ運動推進協議会事務局
(役場健康福祉部町民課内)

☎0796・36・1110



▲ポイントカード1枚(スタンプ30個)で、燃えるごみ指定袋(小)1枚と交換



香美町マイバッグ運動推進協議会の設立

9月1日、町民団体、商工会、事業者、行政などで構成する「香美町マイバッグ運動推進協議会」を設立し、マイバッグの普及に向けた運動を進めていくこととしました。

協議会では、マイバッグ持参率アップでレジ袋削減を目指し、①マイバッグの普及、②レジ袋削減に向けた全町的なPR活動、③レジ袋削減の円滑な実施の方策などについて検討していきます。

目標「平成21年度末までにマイバッグ持参率50%達成」

協議会では、現在のマイバッグ持参の状況を踏まえ、マイバッグ運動の目標を定めました。

町内の現状は、スーパー・食料品店の8店舗で聞き取り調査した結果、マイバッグの持参率は約25%でした。

現在、レジ袋が町内で年間約140万枚使用されていますので、持参率50%の目標を達成すれば、現在よりも約50万枚、CO2排出量が年間約30tを削減することができます。



香美町消費者の会会長 徳田喜代子さん

私たち消費者の会は、長年マイバッグ運動に取り組み、スーパー店頭でのPR活動などを行ってきました。昨年からは「レジ袋減らし隊」運動

として町内に広める活動を行っています。

この度、マイバッグ運動に全町を挙げて取り組んでいただけることで、町民の皆さんの間に一気に広まることを期待しています。

北但地域環境フォーラムが香美町で開催されました。

8月3日、香住区中央公民館において、循環型社会づくりに向けこれからのごみ対策を地域のみんなで考えようとして「北但地域環境フォーラム」が開催されました。

第1部では北但1市2町が平成25年度からの稼働に向け計画を進めている広域ごみ・汚泥処理施設整備について、北但行政事務組合の中貝宗治管理者（豊岡市長）から事業の説明が行われました。

第2部では、「食卓から環境を考えよう」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

最初に、コーディネーターの神戸山手大学教授の中野加都子氏からごみの現状報告があり、ごみの資源化・リサイクルが徐々に進んでいるとしながら、食品産業のごみ減量の工夫や、消費者のライフスタイルの見直しが必要だと提言されました。

続いて藤原町長が、香美町におけるごみの現状とその課題、行政が進めるごみ減量化対策を報告し、新たに町民運動として「マイバッグ運動」に取り組むことを発表しました。

町婦人会副会長の田村英子氏、民宿経営の小西由美子氏からもそれぞれの立場からごみ処理に対する取り組みなどについて発表があり、環境センターの小松副所長からは、矢田川レインボーに持ち込まれるごみの現状を報告し「割れたガラスは紙や布に包む」など危険なごみの出し方に対する指導がありました。

フォーラム全体を通じて、ごみ問題に関心を持っていただき、来場者アンケートにも多くの感想・意見が寄せられました。



お年寄りが、元気で長生き、いきいきと暮らせるまち

香美町は、人口2万1738人のうち、65歳以上の高齢者の皆さんが6747人、率にして31.0%となっています。(平成20年8月1日現在) そのなかには元氣いっぱい皆さんの大勢いらっしゃいます。

高齢者の皆さんには、今年度から推進しています「いきいきまちづくり運動」にも積極的にご参加いただき、さまざまな事業でご活躍いただいています。また、今年度から町全体で始めている介護予防教室「転びにくい体づくり教室」(コロから教室)にも、積極的に参加いただいています。

9月は、高齢者の保健福祉向上と社会参加の推進を図る「高齢者保健福祉月間」であることから、さまざまな分野でご活躍の「元氣で長生き、いきいきと暮らしておられる、お年寄りの皆さん」をご紹介します。



▲転びにくい体づくり教室で、体力づくり、健康づくりに励む皆さん

香住区



語り部、「サロン灯台」責任者
「できることは進んでやります」

岡辻増雄さん(御崎、83歳)

御崎を訪れる観光客や地元の小学生などに、御崎の歴史や灯台のことを話す「語り部」として活躍される岡辻さん。御崎区の老人会会長、いきいきサロン「サロン灯台」の責任者も務め、地域のお年寄りの健康づくりに積極的に取り組んでおられます。

岡辻さんは「村に残る者の責任」と思い、御崎のことをいろいろと勉強しました。人前で長時間話す「語り部」は、結構体力が必要で、健康づくりにもつながっています。若い人たちにすべてを任せるのではなく、自分たちでできることは進んでやろうと思っています。何をやるにしても、地域の皆さんや家族のおかげで、ここまでやってこれました」と熱心に語っておられました。

心休まる集いの場所「ほおづき」

「人のためになることを何かしたい」

松井ゆきさん(七日市、85歳)

6年ほど前に大きな病気にかかり、歩くことも話すこともできなかつたという松井さん。「病気に負けたらアカン。まだ、自分でできることがあるはず、人のために何かしなければ」と懸命にリハビリに励み、健康を取り戻されました。

お嫁さんの協力で、自宅の一部に誰でも集える場所「ほおづき」を設けられました。松井さんの人柄を慕い、毎日いろんな世代の人が集まり、悩み事の相談や健康づくりの勉強会などを開催しています。松井さんは「病気を機に考え方が変わりました。人の役に立てたらうれしい。教えたり教わったり。人と話すことが自分のリハビリにもなっています」と笑顔で語っておられました。



▲松井さん(手前)と話友達の皆さん。「ほおづき」は当時の地元老人会長関隆夫さんが命名。

村岡区



**「途中で投げ出すことが大嫌い」
詩吟最高位の9段
福井春治さん（寺河内、96歳）**

70歳を過ぎてから、知人に勧められ詩吟を始めて25年。現在、最高位の9段。まだまだ張りのある声で元気に歌う福井さんは「若いころに戦地に出向いたことや、30年間杜氏として酒造りに励んできたことで体が丈夫になり、さらに詩吟を始めたら病気をしなくなりました。何か一つでも心の励みになる趣味を持った方がいいですよ。もともと、イノシシ年生まれで、途中で投げ出すことが大嫌い。目標を持って生きること、何でも一度始めたら続けていくことが大切」と力説しておられました。

福井さんは、詩吟のほかにも、公民館講座の「かな書道」に参加し、腕を磨いておられます。

多彩な趣味が人生のスパイス

「時間を忘れて夢中になります」

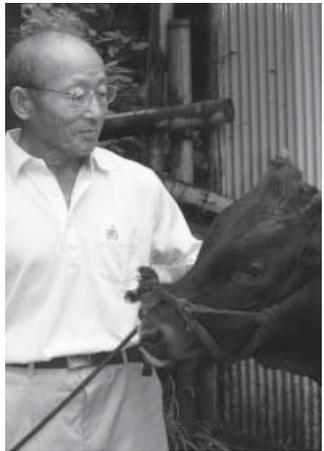
中村くに多さん（市原、86歳）

若いころは、ご主人を助けて農業一筋で、特に趣味はなかったという中村さん。数年前から足腰が弱くなり家にいる時間が増え、周囲の勧めもあつて、絵画や押し絵、パッチワークなどさまざまなことに興味を持って取り組み、村岡区文化祭にも毎年欠かさず作品を出展されています。

中村さんは「最近では、漢字や数字を当てはめて問題を解くクワースワードパズルに夢中で、脳のトレーニングにもなっています。何かをやり始めると、時間を忘れ夢中になってしまふことがよくあります。今はしたいことがたくさんあつて楽しいです。これからも楽しいことを見つけて挑戦します」と笑顔で話しておられました。



小代区



**「何年たっても、子牛はかわいい」
牛と歩んだ80年
井上與一さん（実山、82歳）**

「小学校入学前から朝晩、放牧場まで牛を送り迎えしていました」と振り返る井上さん。多いときは6頭飼っておられました。年齢や体力を考え、今は2頭を飼育。ご夫婦二人三脚でがんばっておられます。

「長いこと飼つると、品評会で1等をもたらう牛もちよこちよこがあります。やっぱり賞をもらうとうれしいし、次もがんばらんなんと思えます。元気でいるから牛の世話ができるし、牛の世話をしているから元気でいられる。これからも、続けられるかぎり世話をお願いします。子牛がどんどん成長するのを見ると、やっぱりかわいいです」と子牛を撫でる井上さんの横顔には、やさしさがあふれていました。

「いいの里短歌会」講師

「言葉にできない思いを短歌に込めて」

井上澄子さん（鍛冶屋、84歳）

高齢者生活支援センター「いいの里」の「いいの里短歌会」の講師として、平成14年から活躍の井上さん。薬剤師として勤めていた病院を昭和50年に退職され、知人の勧めで町内の短歌グループに入会し、昭和54年ころから作歌を始めました。「但丹歌人会」にも入会し、同会が発行する歌誌に歌を投稿することが励みの一つです。

井上さんは「しゃべることは苦手だけれど、歌なら思いを文字に書けばいいからと、短歌を始めました。年をとり、体には次々に支障が出ますが、心は年をこらないうと気持ち若く持つて頑張っています。会員の皆さんの熱心な姿を見て、私の方が励まされています」と話しておられました。



水道・下水道をご利用の皆さんへ

水道・下水道料金が10月1日から変わります

7月22日に開催された第29回臨時議会において、水道料金、下水道料金の改正議案が可決され、今年10月徴収分から改正料金で納めていただくこととなりました。

水道料金、下水道料金につきましては、旧3町の料金、負担金などに大きな差があることから、合併協議のなかで、合併後3年間は旧町の料金とし、4年目に統一を図ることとされていきました。

そのため、「香美町上下水道料金改定検討委員会」でご検討いただき、委員会からの提言をもとに議案に提案し、次のとおり決定しました。

町民の皆さんには、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

料金改正の理由

① 水道・下水道会計は、現行料金で推移した場合、これまでの事業の借入金の返済額が、平成23年度以降、ピークとなり、多額の赤字が見込まれます。その結果、旧3町料金の統一化を図るだけでは必要経費に対応できず、平成28年度末（おおむね10年後）では、多額の累積赤字が想定されます。

② 水道会計では、今後は維持管理が中心となりますが、より安心、安全な水を供給するため、水道施設の老朽化による更新工事や香住区の上水道区域での浄水場の建設が必要となります。一方、料金収入は、人口の減少や節水意識の向上、節水機器の普及などにより減少することから、平成28年度末には多額の赤字（約4億1千万円）が見込まれます。

③ 下水道会計では、整備工事が平成19年度におおむね終了しましたので、今後下水道への接続が進むことから、料金収入は増加傾向にあります。一方、公債費（公債費）は大幅に増加します。一方、基金（積立金）は、公債費の増加により、平成21年度で底をつき、赤字が累積してまいります。その結果、平成28年度末には多額の赤字（約16億8千万円）が見込まれます。

④ このような経営状況を踏まえて、水道会計、下水道会計の経営健全化を図るため、料金改正を実施することとしました。なお、経営の効率化を図り、人件費の削減や事務事業の見直しなど、一層、経費の節減に努めることとしています。

料金計算方法、料金早見表は、去る8月下旬に各家庭に配布しましたチラシをご覧ください。

改正の概要

平成28年度末には累積赤字を解消するために、料金改正を実施します。

① 水道会計は、累積赤字額の全額を料金収入で解消します。下水道会計は、累積赤字額が大きいため、2割を料金収入で、8割を町一般会計からの補てんで解消します。

② 料金改正は、3区別の料金格差が大きいため、第1次改正（平成20年10月）、第2次改正（平成23年7月）、第3次改正（平成26年7月）の3段階とします。

③ 第1次改正と第2次改正までは、3区ごとの赤字額の違いから3区別料金、第3次改正時に統一料金とします。

減免措置について

料金の減免措置は、漏水および70歳以上の独居老人世帯を対象とします。

●独居老人世帯の軽減

①対象	70歳以上の独居老人世帯で住民税が非課税の人
②軽減額	水道 315円/月 下水道 210円/月

③対象区域 全町

④申請方法

対象となる世帯の人は、申請書に必要事項を記入いただき、香住区の人役場建設部上下水道課へ、村岡・小代区の人役場建設課へ、建設課へ提出してください。

なお、申請用紙は、役場健康福祉部町民課窓口、建設部上下水道課、各地域局などにあります。

☆下水道接続工事資金融資利子補給制度の拡充

これまで供用開始後3年以内の地域での下水道接続の場合にのみ適用していましたが利子補給を次のとおり拡充します。

①対象者

供用開始3年以上経過地域での下水道接続

②対象期間

平成20年10月～平成23年3月

③利子補給率

利子の1%相当分を町が補てん ※そのほかの条件などにつきましては、現行の制度と変わります。

●問い合わせ先

役場建設部上下水道課
各地域局農林建設課



「自らの安全は自ら守る」一人ひとりの防災意識を高めよう！

地震を想定、総合防災訓練実施

香美町災害対策本部



▲【災害対策本部】
報告事項を集約、対応策を指示。



▲【村岡区和池】
AEDを使った心肺蘇生法を練習。



▲【香住区下岡】
女性の皆さんでホース結末や放水を实践。



▲【小代区野間谷】
住民の皆さんでバケツリレーによる消火訓練。

町民一人ひとりの防災意識を高めていくことを目的に、町内全域を対象とした防災訓練を行いました。基準日の8月31日には、114区、8800人の皆さんが訓練に参加しました。（都合により基準日以外に訓練を行った地域もあります）

今回は、兵庫県北部地域で震度5強の地震が発生し、家屋倒壊などの被害や、強い余震の恐れがあり、津波注意報が発令されたという想定で行いました。

町、自主防災会、消防団、関係機関が連携し、避難訓練、消火訓練のほか、町災害対策本部との通信訓練などを行いました。

○訓練内容
次の訓練のほか、各地域の実情に応じて独自の取り組みも行われました。

- ・避難誘導訓練：要援護者の避難誘導など
- ・情報収集・通信訓練：町対策本部への被害状況などの報告

●問い合わせ先

役場健康福祉部町民課
各地域局健康福祉課

こんにちは町長です

目指せ 山陰海岸ジオパーク

京都府から鳥取県まで、約75kmに及ぶ山陰海岸国立公園は、名勝香住海岸を中心に、多くの奇岩・洞門などで多彩な景観を醸し出しています。加えて、天然記念物の鎧の袖やめがね島など、地質学的にも貴重なものが多くあります。

そのため、山陰海岸の魅力を一層高めていくべく、関係市町等と連携して、ユネスコのジオパーク（世界地質公園）の認証を受ける取り組みを進めているところです。

このたび、香住高校美術部の皆さんの協力により、香住駅にすばらしい啓発看板もできました。

今後とも、町民の皆さんとともに、一層の取り組みを進め、ジオパークの実現に努力していきたいと考えております。

香美町長 藤原久嗣



▲香住駅に設置された看板（縦1.2m×横11m）は、香住高校美術部の駒居愛美さん（3年）、西村隆治さん（3年）、澤田実可子さん（2年）が中心となり、約2ヵ月かけて完成。

～ 余部鉄橋から未来に向けたメッセージ～ 余部鉄橋の鋼材を活用するアイデアコンペ

近代土木遺産としての価値が高い余部鉄橋は間もなく鉄道橋としての役割を終えようとしています。そこで、「余部鉄橋の継承」の取り組みの一つとして、撤去する鋼材を活用した多様かつ斬新なアイデアを募集します。



●応募資格

個人、グループ、国籍、プロ、アマチュアは不問。ただし、小学生以下の応募は保護者または指導者名が必要。応募は、1人（1団体）何点でも可。展示・保存、研究の部は、受入れ関係者以外の人からの応募も可。

●募集区分、応募方法など

①部材再利用の部

部門	募集内容	活用例	応募方法、企画書記載内容
オブジェ部門	三方約 50 cm 以上。持ち運びが困難なもの。公園や公的施設に設置可能な程度の規模のもの。	モニュメント・かざり柱・公園遊具・いすなど	A4 用紙 2 枚。 1 枚目に①アイデア名②募集区分③アイデアの主旨（概要、このアイデアを思いついた理由や提案ポイント）、2 枚目に④アイデアをイメージできる図または絵など⑤アイデアが実現した際の想定しているサイズを記載。
グッズ部門	三方約 50 cm 未満。持ち運びが容易なもの。	文鎮・装飾品・記念グッズなど	

②展示・保存、研究の部

部門	募集内容	活用例	応募方法、企画書記載内容
展示・保存部門	部材そのものの展示・保存	博物館への展示・保存など	A4 用紙 1 枚に、①提案名②募集区分③提案の主旨（概要、この提案を思いついた理由や提案のポイント）を記載。
研究部門	部材を使用した研究	100 年間使用された部材の強度や防食など	

※ 企画書は、所定の様式に必要事項を記入した上で、必ず複製（コピー）を保管し、原本を折り曲げずに提出期限までに事務局まで郵送してください。

企画書と応募用紙は、<http://www.amarube.jp> からダウンロードできます。また、役場総務部企画課でもチラシなどをご用意しています。

なお、チラシ裏面の応募用紙を 1 枚目の企画書の裏に必ず添付して応募してください。

●募集期間

9月16日（火）～10月24日（金）※当日消印有効

●審査について

審査の対象となるのは、「部材再利用の部」のみです。また、一次審査通過者は、11月22日（土）に、香美町香住文化会館でプレゼンテーションを行っていただきます。

●賞

オブジェ部門 グッズ部門	最優秀賞 各 1 名	副賞として「香美町立国民宿舎ファミリーイン今子浦」のペア宿泊券と地元海産物など
	優秀賞 各 1 名	〃
	特別賞 各 2 名	地元海産物など

●問い合わせ（応募）先

〒540-0001 大阪市中央区城見 1-4-70 八千代エンジニアリング株式会社大阪支店内

余部鉄橋撤去鋼材活用方策アイデアコンペ委員会事務局アイデアコンペ係

☎06・6945・9215 FAX06・6945・9303

役場総務部企画課

※役場ロビーに応募箱が設置されています。必ず、封筒に入れるなど企画書を保護して投函してください。

満 65 歳以上の人インフルエンザ予防接種料を一部公費負担します

満 65 歳以上の人インフルエンザの予防接種を希望される場合、費用の一部を公費負担します。

●対象者

町内に住所があり、インフルエンザの予防接種を受ける時点で満 65 歳以上の人（ただし、60 歳以上 65 歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害のある人も、接種の対象となります）

●実施期間

平成 20 年 10 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日

●実施方法

- ・接種を希望する医療機関に直接予約をしてください。
- ・医療機関で問診票を記入し、診察の結果、医師が『接種可能な状態である』と判断した場合に予防接種を受けることができます。

●注意事項など

- ・予防接種を受けるときは、健康手帳が必要です。健康手帳をまだお持ちでない人は、役場または各地域局であらかじめ交付を受けておく必要があります。
- ・予防接種を受けた人は、自己負担分として医療機関に 2,000 円を支払っていただきます。

- ・公費負担を受けられるのは、実施期間内に 1 人 1 回のみです。
- ・生活保護世帯に属する人は無料ですので、その旨を各医療機関の受付で申し出てください。
- ・インフルエンザの予防接種は、インフルエンザの予防や、かかっても重症になることを防ぐ効果があると言われています。普通の風邪の予防にはなりません。



●対象となる医療機関

所 在	医 療 機 関	電 話 番 号
香住区	公立香住病院	36・1166
	下山医院	36・3250
	成田医院	36・2771
	山本クリニック	39・1525
村岡区	公立村岡病院	94・0111
	村瀬医院	94・0003
小代区	小代診療所	97・2023

※電話番号の市外局番は、0796

●問い合わせ先

役場健康福祉部健康課、各地域局健康福祉課

長寿医療制度（後期高齢者医療制度）の保険料に関するお知らせ

●10 月から健康保険などの被扶養者だった人の保険料の納付が始まります。

被扶養者だった人の平成 20 年度の保険料は年額 2,196 円です。年金からお支払の場合は、10 月・12 月・2 月の 3 回で、納付書・口座振替などの場合は 10 月から 3 月までの 6 回で納付していただきます。

●平成 20 年度の新たな軽減の対象となる人に、保険料額の変更通知を送付しています。

均等割額が 7 割軽減の人や賦課のもととなる所得金額が 58 万円以下の人には、8 月に保険料額の変更通知を送付しています。なお、保険料を年金からお支払いいただいている人は、10 月以降の納付額がゼロになる場合や還付が生じる場合があります。



●保険料を年金からお支払いいただいている人の納付方法の変更について

次の要件のどちらかに該当する場合は、申し出により、口座振替での納付に変更できます。

- ①国民健康保険税を確実に納付していた人（本人）が、口座振替により納付する場合
- ②年金収入 180 万円未満の人が、住民基本台帳上の世帯主または戸籍上の配偶者の口座から納付する場合

※②の場合は、世帯主または配偶者の所得税および住民税の社会保険料控除の対象になり、世帯全体の所得税および個人住民税の負担が下がる場合があります。（年金からお支払の場合は、被保険者の社会保険料控除の対象になります）

●問い合わせ先

役場健康福祉部健康課、各地域局健康福祉課
兵庫県後期高齢者医療広域連合事務局

☎078・326・2648

北近畿豊岡自動車道早期実現促進大会 但馬へ、香美町へ「自動車道 つなぐ未来と はぐくむ地域」



8月10日豊岡市民会館で、北近畿豊岡自動車道早期実現促進大会が開催され、香美町からも藤原町長、町議会議長、議員、区長（自治会長）の皆さんなど約80人が参加。「都市部と地方の均衡ある発展、但馬・丹波地域の活力ある地域づくりをより一層推進するため、北近畿豊岡自動車道の全線早期整備を強力に推進する」旨を強く要望する決議文書の採択などが行われ、参加者全員で同自動車道の早期実現を誓い合いました。

北近畿豊岡自動車道 計画図



北近畿豊岡自動車道は、播但連絡道路とともに南北の高速交通ネットワークを形成し、将来は、兵庫北部を東西に連絡する鳥取豊岡宮津自動車道と接続する予定となっています。

町内外の道路網が整備されることによって、山・川・海の豊かな自然を持つ香美町にとって、松葉ガニ・但馬牛などの特産品や、夏の海水浴、冬のカニスキやスキーなどを生かした観光中心のまちづくりを進めるなかで、地域の活性化に大きく寄与するものと考えます。

「ふるさと納税制度」で“新しい香美町づくり”にご協力を！ すでに、155件 550万円のお申し込みをいただきました

香美町ふるさと納税 特産品一覧

ご寄付いただきましたお礼として、香美町の特産品（5,000円相当）をお贈りいたします。いずれも香美町を代表する品ばかりです。ぜひご確認ください。

海の特産品 (香美)

1. 日高産 日高産 日高産
2. 日高産 日高産
3. 日高産 日高産

山の特産品 (財院・小代)

4. 山産物
5. 山産物
6. 山産物

7月から受け付けを始めた本町の「ふるさと納税制度」。町民の皆さんにご協力いただき、親戚や知り合いの方々に声をかけていただきました結果、8月31日現在で155件、約550万円の申し込みがあり、すでに81件、約360万円を入金していただきました。

町からのお礼として、1万円以上の寄付をしていただいた方には、入金を確認後、随時、ご希望の“香美町の豊かな自然が育んだ特産品（5千円相当）”をお贈りさせていただきます。（ただし、商品によっては、期間限定のものもあります）

一人でも多くの方々の協力を得られますよう、引き続き町民の皆さんからも知り合いの方々に声をかけていただきますようよろしくお願いします。

●問い合わせ先 役場総務部総務課

NHK 公開録音「上方演芸会」開催 会場いっぱい笑顔の渦



▲大爆笑の入場者

8月29日、香住区中央公民館でNHK公開録音「上方演芸会」が開催されました。

NHK大阪放送局制作の最長寿番組である「上方演芸会」の収録に、町内外から大変多くの事前申し込みがあり、当日は抽選で選ばれた691人の皆さんが入場されました。

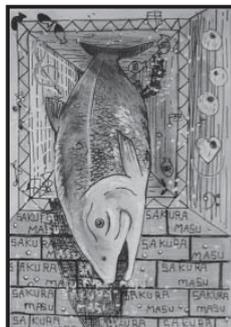
2回に分けて行われた収録では、1本目はつばさ・きよしさんと横山たかし・ひろしさん、2本目はレツゴー長作さんと今いくよ・くるよさんで、テンポのよい話し方やつぼを押さえたボケとツッコミに、満席となった会場では笑いの渦が巻き起こっていました。

なお、ラジオでの放送予定は、次のとおりです。

- 放送予定日
- ・1本目 9月12日(金) 21:30～21:55 (ラジオ第1)
- ・1本目(再) 9月20日(土) 15:10～15:35 (ラジオ第2)
- ・2本目 9月19日(金) 21:30～21:55 (ラジオ第1)
- ・2本目(再) 9月27日(土) 15:10～15:35 (ラジオ第2)

第5回「魚の絵コンテスト」結果発表

幼児から一般まで町内外から495点の応募作品がありました。最優秀賞、優秀賞に選ばれた作品を紹介します。



「飛び出す！サクラマス」
早坂祥子さん

①



「親子で散歩」

②



「やさしい魚たち」

③



「メタリックフィッシュ」

④



「影にひそむカサコ」

⑤

はがきサイズのキャンパスに思い思いの魚を描く「魚の絵コンテスト」。今年は、力作495点の応募がありました。審査の結果、次のとおり、最優秀賞1点と優秀賞19点を選びました。(敬称略)

●最優秀賞

①早坂 祥子さん (北海道根室市、一般)

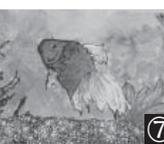
●優秀賞

- ②小林 由紀子 (香住区、一般)
- ③木下 阿来子 (豊岡市、一般)
- ④吉高 葵風 (朝来市立生野中2年)
- ⑤三木 大樹 (朝来市立生野中1年)
- ⑥山岸 葉月 (温泉小6年)
- ⑦阪本 こゆき (鳥取聾学校6年)
- ⑧中瀬 万葉 (奥佐津小6年)
- ⑨裏戸 茅子 (奥佐津小5年)
- ⑩大西 里香 (柴山小5年)
- ⑪木名瀬 暁理 (茨城県那珂郡東海村立村松小4年)
- ⑫福本 桃子 (香住小4年)
- ⑬木下 悠仁 (豊岡市立港西小3年)
- ⑭稲葉 佳由 (香住小3年)
- ⑮森澄 優己 (佐津小2年)
- ⑯谷口 裕樹 (浜坂東小2年)
- ⑰本多 孝太 (温泉小2年)
- ⑱西谷 美音 (兎塚小1年)
- ⑲山田 歩夢 (香住幼稚園5歳)
- ⑳福田 陵我 (宝樹保育園2歳)



「タコのダンス」

⑥



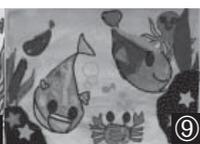
「ふわりふわり泳ぐ金魚」

⑦



「かにの瞳」

⑧



「仲よし海の仲間たち」

⑨



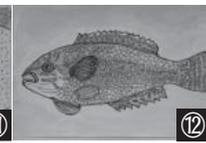
「魚」

⑩



「アンコウ図書館へようこそ」

⑪



「あおべろこ」

⑫



「れんこたい」

⑬



「いるかといっしょにおしゃれをしたよ」

⑭



「ぼく、カラフルヤドカリだよ」

⑮



「かっこいいじんべいさめ」

⑯



「オーロラみたいな魚たち」

⑰



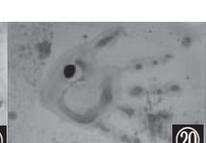
「なかよくおよいでるな」

⑱



「うみのおともたち」

⑲



「おさかな」

⑳



●問い合わせ先 役場産業部農林水産課

香美町の出身者が全国大会で活躍

第63回国民体育大会出場

●松井和也さん セーリング少年男子シィホッパー級SR
(隠岐水産高等学校2年、香住区沖浦)



父・善彦さんの影響で、香住海洋クラブに所属し、小学校2年のころからヨットを体験。高校に進学後、同じくセーリングで国体に出場した兄・優也さんの勧めもあって、ヨット部に入部し、本格的にヨットを始めました。松井さんは「ヨットで、風をきり、波を蹴って走るのがとても楽しい。レースで先頭を走っているときがとても気持ちいい。思い切りよくスタートすることが今の課題。国体出場を機にさらに精神面と技術面に磨きかけたい」と意気込みを語っていました。

2008全国中学校総合体育大会出場

●前田夏奈子さん バレーボール
(夙川学院中学校3年、香住区駅前)



小学校6年のころからバレーボールを始め、豊岡南中学校を経て、今年4月にバレーボールの名門の夙川学院中学校に編入学。レシーブを得意とし、小柄ながらレギュラーで活躍中。早くから全国大会出場の夢を抱き、厳しい練習に励む日々を過ごしています。前田さんは「バレーボールがほんとに好き。相手が打った難しいボールをつまくレシーブできるとおもしろい。練習で努力した分だけ成果が出て、夢も叶う。自分の役割を果たして、チームの勝利に貢献したい」と抱負を語っていました。

平成20年度 全日本卓球選手権大会
(ホープス・カブ・パンビの部) 出場
第27回 全日本クラブ卓球選手権大会
(小・中学生の部) 出場

●石井貴大くん 卓球
(射添小学校4年、村岡区川合)



小学校2年生のときに、お兄さんと同じクラブに入会。最初はそれほど真剣ではありませんでしたが、4年生になり、練習が本格的になると、ぐんぐん実力を伸ばし才能を発揮。大会で好成績を残せるようになりました。
第27回全日本クラブ卓球選手権大会(8月29日、30日開催)の団体戦のメンバーとして出場するにあたり、石井くんは「みんなの足を引っ張らないように、今まで練習したことを発揮してがんばりたいです。思いっきり楽しみたいです」と意気込みを話していました。

香り高く美しいまちづくり運動
ジャンボひまわり
コンクール結果

今年のジャンボひまわりコンクールには、52人の応募があり、次のとおり各部門の入賞者が決まりました。ジャンボひまわりとファイブひまわりの2部門で優勝した小田垣恵さん(香住区大野、写真)は「毎朝様子を見るのが日課でした。1日に20~25cmも伸びる日もあり、世話が大変でした。来年は6mを超えることが目標です」と語りました。



●ジャンボひまわりの部
(1本の高さ)

- 1位 5.15m
小田垣 恵さん (香住区大野)
- 2位 5.00m
原 久さん (香住区八原)
- 3位 4.88m
後垣 晶一さん (香住区大谷)

●ファイブひまわりの部
(5本の高さの合計)

- 1位 24.42m
小田垣 恵さん (香住区大野)
- 2位 24.10m
原 久さん (香住区八原)
- 3位 22.64m
後垣 晶一さん (香住区大谷)

●多輪の部 (1本の花の数)

- 1位 150個
川本 美代子さん (村岡区和田)
- 2位 117個
中村 艶子さん (村岡区宿)
- 3位 110個
田中 享さん (村岡区和田)

●特別賞 (道路沿いなどで多くの人の目を楽しませたなど)

- 野村 尚司さん (村岡区入江)
- 柴山小学校1年生

求 人 情 報

ハローワーク香住（職業安定所）

☎0796・36・0137

（平成 20 年 8 月 20 日現在、順不同）

▽正社員					▽パートほか（正社員以外）				
所在地・勤務地	事業所名	職種	年齢	人数	所在地・勤務地	事業所名	職種	年齢	人数
香住区三谷	矢田川開発(株)	公衆浴場管理サービス	不問	1	香住区三谷	矢田川開発(株)	接客・清掃	不問	1
香住区下浜	(有) 三宝	フロント・接客・清掃係	不問	1	香住区下浜	(有) 三宝	接客・洗い場・清掃など	不問	1
香住区香住	(有) 三七十	接客係	不問	3	香住区七日市	ほかほか弁当 但馬飯	弁当の製造販売	不問	1
香住区上計	(株)ヤマヨシ	販売・店長補佐	不問	1	香住区上計	(株)ヤマヨシ	販売	不問	3
香住区下浜	(株)宿院商店	水産加工員	不問	1	香住区下浜	旅館 佐小	接客	不問	3
香住区沖浦	津山商店	海産物の販売	不問	1	香住区境	(株)香住観光公社	接客係	不問	3
香住区七日市	(有) 鎌清商店	接客係	39 以下	1	香住区沖浦	津山商店	海産物の販売	不問	1
香住区上計	(株)カネニ	水産加工員	35 以下	1	香住区香住	酒膳 めいびる	接客係	不問	1
香住区下岡	香住食研(株)	食品製造	不問	2	香住区香住	(株)丸近	一般作業員	不問	2
香住区森	(有) 西本設備	電気工事士（見習）	30 以下	1	香住区七日市	(株)ヤマイチ	水産加工	不問	3
		設計補助事務	不問	1	村岡区入江	(株)宿院商店	販売員	不問	3
		配管工	不問	1	村岡区大楯	(株)コメリ中四国地区本部	販売員（パート）	不問	1
		電気工事士	不問	1	小代区野間谷	SHT兵庫(株)	車載センサーコア低周波トランス製造	不問	12
村岡区長瀬	山本工業	土木施工管理	不問	1	小代区、村岡区	社会福祉法人みかたこびしの里	嘱託看護員（看護師）	不問	1
		配管工	不問	2					
村岡区村岡	村岡日石(株)	ガソリンスタンドスタッフ	35 以下	1	▽正社員				
村岡区高井	(有) 中村建工	1 級建築士	不問	1	所在地・勤務地	事業所名	職種	年齢	人数
村岡区福岡	(株)西村工務店	建築施工管理技師	不問	1	村岡区村岡	村瀬医院	介護員	不問	1
村岡区入江	(株)宿院商店	事務・販売	不問	1	小代区城山	(株)出石モーターズ	営業	不問	1
村岡区村岡	エイフ電器(株)	購買事務	40 以下	1			自動車整備工	不問	1

簡易耐震診断推進事業 ご自宅の耐震は大丈夫？

一部負担で、簡易耐震診断員（建築士）の住宅耐震診断を受けることができます。

●対象

昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工した住宅（但し、平成 12 年度～ 14 年度に行った「わが家の耐震診断推進事業」を受けた人は対象外）

- 実施予定戸数 8 戸
- 個人負担額 3,000 円（木造戸建住宅の場合）
- 申込方法 今年 12 月末までに申し込みを
してください。
- 問い合わせ先 役場建設部建設課



お誕生 こんにちは、赤ちゃん

ご逝去 慎んで、お悔やみ申し上げます

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。

※このコーナーは、先月（8/1～8/31）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）

※このコーナーは、先月（8/1～8/31）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）



●役場各課など主な施設の連絡先

役場本庁舎 36・1111(代表)
 総務課 36・1111 企画課 36・1962 税務課 36・1113 会計課 36・4321
 町民課 36・1110 健康課 36・1114 福祉課 36・1964 農林水産課 36・0846
 観光商工課 36・3355 建設課 36・1961 上下水道課 36・0420 議会事務局 36・1963
 村岡地域局 94・0321(代表) 小代地域局 97・3111(代表)
 教育委員会 94・0101 香住分室 36・3764 小代分室 97・3966
 公立香住病院 36・1166 公立村岡病院 94・0111 香住地域福祉センター 36・4345
 香住老人福祉センター 36・5008 村岡老人福祉センター 98・1000
 小代高齢者生活支援センター 97・2202
 （全ての施設の市外局番：0796）

まちの出来事

第35回村岡ふる里まつり

大人も子どもも楽しむ祭り

(村岡区)

8月2日、村岡商店街を歩行者天国にして「第35回村岡ふる里祭り」が盛大に開催され、大勢の来場者で賑わいました。

会場では、6回目となる爆笑三輪車リレー大会やよさこいソーラン、もちまき大会、村岡中学校の生徒による吹奏楽演奏など、次々に楽しいイベントが繰り広げられました。

また、村岡区内の6年生で構成する少年少女音楽隊による演奏パレードや、4、5年生の42人が殿様やお姫様、やっこなどのさまざまな衣装を着て商店街を練り歩く大名行列が登場すると、沿道から大きな拍手が送られていました。

日が沈んで暑さが少し和らいできて、会場となった商店街の通りでは、数多くの露店が人であふれ、夜遅くまで賑わっていました。

▼毛槍を手に歩く“やっこ”姿の子どもたち



第6回兵庫真夏の雪合戦大会

チーム二丸となって熱戦繰り広げる

(小代区)

8月3日、小代健康公園で第6回兵庫真夏の雪合戦大会が開催され、炎天下のなか県外からの参加者も含め、12チーム（1チーム7人）が白熱した戦いを繰り広げました。

ゲームは、雪球の代わりにお手玉のような室内公式球を投げてより多くの相手に玉を当てるか、敵陣の旗を奪うかで勝敗を決めます。

初めて参加した藤澤安恵さん（小代区水間）は「チーム全員が一丸となって戦うことの楽しさを知りました。初心者でも参加しやすいです」とさわやかな汗を流していました。

大会結果は次のとおりです。（敬称略）①高松クラッシュヤールン（香川県高松市）②村高アカンタレーズ（村岡区）③クラッシュヤールン☆（香川県高松市）、T-7（小代区）

▼玉が飛び交うなか、敵陣に突撃する選手



▼ロウソクの明かりに絵や文字が浮かび上がるとうろう



第21回佐津川七夕まつり 手作りのとうろう 300個が川面に揺れる

(香住区)

佐津川河川敷で8月3日、第21回佐津川七夕まつりが行われ、地区内外から多くの観客が訪れました。

会場では、香住区大野の演歌歌手濱田陽子さんの歌をはじめ、踊りや太鼓などが披露されたあと、約210発の花火が打ち上げられました。

ファイナールには、子どもたちが思い思いに絵や文字を描き、七夕の願いを込めた約300個のとうろうが会場の川上から佐津川に浮かべられました。真っ暗の川面にオレンジ色のとうろうがゆらゆらと揺れ、「あそこ」と子どもたちの指差す姿が見られました。



▲ステージで熱唱する田淵さんと西口さん

初めてステージショーに参加した県立香住高等学校の2年生でフォークソング同好会の田淵美里さん（香住区無南垣）と西口功真さん（同区香住）は「ステージに立つと緊張しましたが気持ちよかったです。毎年祭りが盛り上がってくれたらいいです」と語ってくれました。

第19回北但西部管内緑の少年団交流大会
自然を愛する心豊かな人になって
(香住区)

美方郡内の小学校の児童で組織する「緑の少年団」が一同に集い、「第19回北但西部管内緑の少年団交流大会（同少年団連絡協議会主催）が8月5日、香住区境の今子浦グラウンドで行われました。



▲オオヤマザクラを植栽

これは、子どもたちが自然を愛する心豊かな人間性を持った社会人に育つよう、毎年開催しているもので、今年は郡内の20校すべての小学校から340人の少年団が参加しました。

式典では、代表の児童4人が「誓いの言葉」を発表。町内からは、香住小学校4年の奥谷開斗くんと長井小学校5年の山本哲也くんが「森の大切さ、素晴らしさ」について力強く語りました。

このあと、交流大会開催の記念として、グラウンドの周囲に5本のオオヤマザクラの苗木を植樹しました。

また、のこぎりで丸太切りに挑戦したり、松ぼっくり人形やネームプレートなどの木工クラフト作りを体験しました。

▼木工クラフトに挑戦



▼さあ、矢田川の河口に向かって出発



かすみっ子フォーラム
人、自然、ふるさとを好きになろう
(香住区)

夏空が広がる8月9日から10日にかけて、香住地区公民館による「かすみっ子フォーラム」が開催されました。これは、地域の人たちとかわりを持ち、団体生活や自然のなかでの体験を通し、ふるさとを好きになってもらおうと行われたもので、香住地区の小・中学生41人が参加。1泊2日で、カヌーやいかだ、はえ縄漁、夜番、香住浜のごみ拾いなど、さまざまなことを体験しました。



▲捕まえたウナギを手に記念写真

2日目の早朝、前日に矢田川に仕掛けたはえ縄を引き上げると、8匹のウナギがかかっています。ウナギはこの日の昼食のバーベキューでかば焼きにして、参加者みんなで食べました。

また、香住区問室から同区矢田の河口まで、タイヤチューブやいかだなどで、矢田川下りを楽しみました。

姉妹で参加した吉川真矢さん（香住区下浜、香住小4年）と真央さん（同3年）は「ウナギが取れてよかった。川下りではいっぱい魚も見えたし、ゴールまで泳げてよかった」と語りました。

しおかぜ香苑オープンングイベント
心地よい潮風と芝生のグラウンド
(香住区)

今年7月に完成したしおかぜ香苑。そのオープンングイベントとして8月23日、美方郡内の4チームによる「しおかぜ香苑ジュニアサッカー大会」と、子どもも楽しめる「み広場」が開催されました。



▲潮風がそよぐなか、熱戦が続く

サッカー大会では、約120人の小学生が、優勝を争う6年生以下の部と4年生以下の部、交流試合のキッズの部に分かれ、芝生のコートではつらつとしたゲームを繰り広げました。また、お楽しみ広場では、蹴ったボールのスピード測定やカキ氷などのゲームやバザーが行われました。

主催者の同香苑オープンングイベント事業実行委員会委員長の畑中恭介さん（香住区一丁目）は「イベントを機に、地域の皆さんにもぜひお越しいただき、サッカーの普及や、いろいろなレクリエーションを楽しめる芝生の美しいしおかぜ香苑のPRにもつながればいい」と語りました。

サッカー大会の結果は、次のとおり。6年生以下の部▼①浜坂②香住③温泉、4年生以下の部▼①浜坂②村岡③温泉

▼キッズの部も、元気にシュート



サッカー大会の結果は、次のとおり。6年生以下の部▼①浜坂②香住③温泉、4年生以下の部▼①浜坂②村岡③温泉

ふるさとの魅力を訪ねて

佐津地区

佐津地区は、相谷、奥安木、浜安木、訓谷、無南垣からなります。



◆地区の世帯数と人口 (H20.8.1 現在 町民課調べ)

区名	世帯数	人口		
		男	女	計
相谷	31	61	67	128
奥安木	23	30	46	76
浜安木	30	45	47	92
訓谷	121	198	220	418
無南垣	106	186	173	359
佐津地区合計	311	520	553	1,073

香美町の北東に位置し、山陰海岸国立公園に面するこの地域は、佐津海水浴場や安木浜海水浴場があり、民宿・旅館も多く立ち並んでいます。夏は、大勢の海水浴客で賑わい、冬はカニすき客がたくさん訪れます。

昭和40年9月に自衛隊が安木・相谷間の道路改修に着手、昭和45年には相谷一浜須井間が開通、東西を結ぶ海岸道路が完成しました。さらに昭和49年にはJRの鉄道南側に佐津バイパスが整備され、竹野、城崎方面への交通時間の短縮が図られました。昨年11月にこの区間を含む「但馬漁火ライン」が『日本風景街道』に登録され、地域の活性化や観光振興を目指し、魅力あふれる道づくりが進められつつあります。

この地域には、県指定有形文化財の石造五輪塔（建造物、訓谷）や役行者像（絵画、浜安木）、町指定有形文化財の訓谷磨崖仏（彫刻、訓谷）やホウキの横穴式古墳（考古、訓谷）といった貴重な文化財のほか、安木八坂神社

のモチノキを主とした社叢、訓谷のクロマツ、沖野神社の大ケヤキなどの町指定の天然記念物があります。

訓谷の沖野神社では毎年10月2日に町指定の無形文化財でもある三番叟が行われ、住人や町外に暮らす親類なども集まり大変賑わいます。

また、地域や各家庭などでの花づくりも大変盛んで、訓谷では集落を開放して、毎年オープンガーデンも開催されています。

観光イベントでは、初夏の“活でかつ勝つイカソーメン早食い大会”や松葉ガニ漁解禁後の“佐津カニ奉納まつり”など特徴のある催しが行われ、観光客の集客に一役買っています。

ステージイベントやバザーのほか、打ち上げ花火やとろろ流しが行われる“佐津川七夕まつり”は、すっかり地区のまつりとして定着し、人々の交流の場となっています。（14ページに関連記事あり）

編集後記

まちのうごき

(平成20年8月1日現在)

合計 21,738人 (-18)
 男 10,331人 (-24)
 女 11,407人 (-22)
 世帯数 6,943世帯 (-10)

カッコ内は前月比

夏休みを利用して、子どもたちがおじいさんやおばあさんと仲良くなるとうい、手作りのゲームを用意したサマーボランティア教室。会場となった新屋敷ふれあい・いきいきサロンでは、子どもたちが自己紹介をする際に、自分のおじいさんやお父さんの名前を言い添えていました。すると、サロンの皆さんからは「あ、あ、〇〇さんごの孫さんだかな」という声がこぼれていました。

参加者の一人、植垣たけのさんが「みなさんの名前を聞いて忘れても、どこかに似ている。祖父母の顔に」と一句書いて見せてくれました。初めて出会った子どもでも初めてではないような…。子どもたちの自己紹介のちょっとした工夫に、とても温かいものを感じました。見覚えのある面影に親近感が湧き、サロンの皆さんの顔がいつぱんに緩みました。植垣さんは「今日は子どもたちに会えるのがとっても楽しかったです。ひ孫のようにかわいかった」と、大変うれしそうでした。

(西)

ふるさと香美(第42号)平成20年9月11日発行
 発行/兵庫県香美町 企画編集/総務部企画課

〒669-6592 兵庫県美方郡香美町香住区香住870の1
 tel 0796・36・1111 fax 0796・36・3809

電子メール info@town.mikata-kami.lg.jp
 〒(ホームページ) http://www.town.mikata-kami.lg.jp



この「広報ふるさと香美」は、自然環境を考えたソイ(大豆油)インキ、再生紙を使用しています。